



低身体活動は FTO rs9939609 の体脂肪蓄積への影響を強める

KEYWORDS// 低身体活動, FTO rs9939609, 体脂肪, BMI

脂肪量および肥満に関連した FTO 遺伝子の変異が BMI および肥満と関係することが示されている。著者らは FTO 変異の肥満, 2 型糖尿病および関連遺伝子型を含む代謝特性への影響について検討した。FTO rs9939609 の多型性を 5 研究グループからなる約 1.8 万人において解析した。2 型糖尿病群 3,856 人および正常なグルコース耐性対照群 4,861 人の検討では, rs9939609 minor A-allele は 2 型糖尿病と関係があった(odds 比 1.13)。この関係は BMI の調整によりなくなった(odds 比 1.06)。中年者 17,162 人では, A-allele は過重体重(odds 比 1.19)および肥満(odds 比

1.27)と関係があった。さらに, 体重, ウエスト, 脂肪量および空腹時血清レプチンのような肥満関連の量的特性は A-allele キャリアにおいて著しく上昇していた。FTO rs9939609 遺伝子型と身体活動には相互作用が認められ, 身体的不活発の同形接合体のリスクである A-allele キャリアは同形接合体 T-allele キャリアに比べて BMI が $1.95 \pm 0.3 \text{ kg/m}^2$ 増加していた。

(Andreasen C, Stender-Pertersen KL, Mogensen MS, et al : Low physical activity accentuates the effect of the FTO rs9939609 polymorphism on body fat accumulation. Diabetes 57 : 95-101, 2008)

(埼玉県立大学保健医療福祉学部 鈴木優治)